

# Life newspaper

## 笑顔の輪が広がるように



# 節



# 分



鬼は外！ 福は内！



桃の節句も間近となり、長かった冬も終わろうとしています。皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。節分の日、らいふ嫁島にも顔の色と体の色が違う新種の鬼3匹と福の神がやってきました。歳の数だけの豆は食べられませんが美味しくいただきます。また、お昼ご飯には恵方巻にイワシの煮付け等、みんなで手作り。皆さん上手に魚を捌き、海苔巻きも慣れた手つきで巻き巻き：楽しく、美味しく作ることができました。

### 節分の由来とは？

今では2月3日に定着している節分ですが、本来は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことを「節分」と呼んでいました。節分は、名前の通り「季節を分ける」ということを意味している言葉です。立春・立夏・立秋・立冬は季節の始まりの日であるため、それぞれの前日は季節の変わり目にあたり、それが節分だったのです。

現代では2月3日だけが節分になっていますが、これは4つの季節の中で「立春」が最も重視されていたためです。春の訪れである立春は1年の始まりでもあり、とくに待ち望まれています。徐々にこの考えが強まり、立春の前日だけを節分と呼ぶことになったのが現代の節分の由来だといわれています。

## 訪問看護ステーション めぐる

### 理念

1. ご利用者が住み慣れた我が家で心身ともに安定した療養生活が継続できるように家族を含めて支援する。

① 関係機関（主治医、介護支援専門員等）との連携を密にする。

② 24時間対応。（要望には速やかな対応を行う）

③ ご利用者及び家族の声に耳を傾け、不安の軽減を図る。

2. ご利用者及び家族の希望を聞きながら在宅ターミナルを支援する。

3. 職員間で情報を共有する事で、緊急時は誰でも対応できるようにする。

4. 知識・技術の向上を図り、種々の依頼に対応する。

株式会社 松江にゅーよーくには「訪問看護ステーション めぐる」があります。明るく元気でやさしい美人看護師（1名イケメン）が多数在籍しており、らいふ嫁島との連携も充実、定期的に利用者さんの情報を共有しています。また訪問入浴との兼務をしているスタッフいますので豊富な在宅での経験を生かし、反映する事により安心してらいふ嫁島で過ごしていただけると思います。



### 今月のスタッフ紹介

木村 和樹 介護福祉士

（きむら かずき）

通称「おきむ」

【性格】真面目で誠実、うちに秘めた熱い思いあり。

【特技】柔道・折り紙

いつもニコニコ笑顔の「おきむ」令和2年1月より、らいふ嫁島のスタッフとして頑張っています。「一人一人じっくりと向き合って介護をしたい」と重心を崩しひっくり返す、ボディ・リネールの得意技「隔返」で犬谷施設長を仕留めてから誇らしげに抱負を語ってくれました。頼もしい好青年です。





2020年

1月の出来事



「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉があります。由来は「1月はお正月があり、2月は元々28日（29日）で普通より短く、3月は年度末なのでやることが多い」ということだそうです。そんな言葉もありますが…春に向かってみなさんが楽しめる行事をどんどん計画中です！楽しいことで忙しくなるのは大歓迎ですね。

今月のお誕生日

HAPPY BIRTHDAY

浅沼 博さん 昭和8年2月15日 88歳



昭和8年（1933年）の出来事 \*日本軍が山海関を占領\* ヒトラー、独首相に就任\* 外相内田康哉、連盟事務総長に日本の国際連盟脱退を正式に通告\* 独、ナチス一党独裁成立\* 三陸沖大地震。津波と火災で死者3000人以上 \* 皇太子明仁誕生。電光ニュースや花電車で祝賀気分高まり、昼は旗行列、夜は提行列\* ヨーヨー大流行\* 「東京音頭」大流行 ☆S8年生まれ オノ・ヨーコ（音楽家・芸術家）高木ブー（ザ・ドリフターズ）永六輔（放送作家・タレント）藤田まこと（俳優）ジェームス・ブラウン（ミュージシャン）伊丹十三（映画監督）黒柳徹子（テレビタレント）菅原文太（俳優）☆流行語「転向」「42対1（国際連盟の対日勧告案採択の際の票数、反対1は日本）」「男装の麗人」☆流行歌「サーカスの唄」「19の春」「東京音頭」

有料老人施設 「らいふ嫁島」利用者第一号の浅沼さんは本当に優しく穏やかで石見神楽が大好きな方です。いつまでもお元気で！

HERO

誰にでも自分の中にヒーローは存在するでしょう。私にとって子供の頃はウルトラマンだったり仮面ライダーだったりテレビの中で悪役を倒す正義のヒーローでした。少し成長してプロ野球選手とかプロレスラーとかBOOWYとか現実の人物に憧れを抱きました。先日、NBA（アメリカのプロバスケットボールリーグ）のスーパースターKOBÉ・BRYANT（コービー・ブライアント）選手（享年41歳）がヘリコプター事故で娘のジアナさん（享年13歳）と共に天国へと旅立ちました。彼がいなくなった事に本当にショックを受け悲しく言葉を失いました。コービーは間違い無く私のヒーローでした。彼のプレーに感動し憧れ励まされました。彼の死から数週間が経ちヒーローについて少し考えてみました。辞書によると1・敬慕的となる人物。英雄。2・劇・小説の主人公。3・スポーツの試合などで、特に活躍した人。とあります。なるほど…何となく、ずっと前から分かっていました。もともと身にヒーローはいました。ずっと昔から助けられ、励まされ…時には本気で叱ってくれた父や母、お爺さんお婆さんに兄妹達そして沢山の仲間達。私たちは今、父となり母となり家族ができた者…歳を重ね経験を積んでいき…それぞれが今こそ誰かのヒーローになれるし、なるように努力すべきと…後悔のないように。

これからも「らいふ嫁島」ご利用のヒーロー達に感謝してできる限りお手伝いしていきたいと思えます。

（コービー・ブライアントと亡くなられた方8名のご冥福をお祈り申し上げます。）